

わたしはこう考える

～説明文「インスタント食品とわたしたちの生活」の書き方を生かして書く～

東広島市立西条小学校 佐野 育代

1 実践の趣旨

本実践は、5年生「意見文」で習得した「事実と意見を明確にすることの必要性、意見文の書き方（取材、選材、文章構成、記述、推敲）」と、本教材「インスタント食品と私たち生活」で習得する「良さと問題点という二つの立場から自分の考えを述べる書き方、主張につながる理由と具体例の必要性」を活用し、より説得力のある意見文の書き方を学ばせることをねらいとしている。また、これら一連の学習を通して、自分の考えを明確にするために必要な思考力・判断力・表現力を育成したいと考える。

2 実践の概要

(1) 単元名

わたしはこう考える～インスタント食品とわたしたちの生活～（東京書籍 小学5年下）

(2) 本単元の目標

本単元の目標

○自分の考えを整理し、主張や理由（具体例）を明確にして意見文を書くことができるようにする。
B書くこと(1)アウエ

(3) 児童の姿

○本学級の児童は、12月単元『考えをまとめて書こう』で自分の意見を裏付ける資料を取り入れて書くという学習をしてきている。その際、ほとんどの児童が手順に沿って書くことができた。しかし、児童の意見文を分析してみると、自分の主張につながる理由になっていない、具体例が乏しい等の課題が見られた。12月に実施した自作テストにおいても、提示された情報を読み取り意見文を書く問題で、32%の児童が条件を満たして書くことができない結果となっており、自分の主張と理由の関連を吟味していく学習が必要である。

○児童は、普段の学習や生活の場面でも、一つの事柄に対して一面的な見方に留まり、多面的な見方から理由を見付け、その中から自分の考えを見出すことはできにくい。いろいろなもの見方や考え方にふれさせていく必要がある。

(4) 指導の手立て

<課題設定について>

○多くのインスタント食品を提示し、自分の生活経験からもつインスタント食品の良さと問題点を意見文に書かせ、学習に対する課題意識をもたせる。また、教材文を通して学んだことを基に、インスタント食品と自分たちの生活について見直し再度意見文を書いて保護者の人に読んでもらうという学習の見通しを明確にもたせる。

<かかわりの場>

教材文で学習する場面では、次の二つの全体交流を仕組む。

①説明文の構成表を活用し、「話題提示ーインスタント食品の良さと問題点ー筆者の主張」という文章構成をつかませる。

②自分の立場を明確にしたディベート方式の話し合いを行うことにより、相手を納得させるためには、主張につながる理由と具体例が必要であることを理解させる。また、多くの意見を聞く中で、いろいろなもの見方や考え方があることに気付かせ、自分の考えを見直させる。

○主張につながる理由と具体例を吟味する際には、グループ交流を仕組み、吟味するポイントを明確にして検討させる。

<再構成の場>

○教材文で学んだ「自分の考えを明確するための文章構成や主張につながる理由と具体例の書き方」を基に意見文を書かせる。

初めに書いた意見文と、交流を生かした意見文を比較することによって、学びを明らかにするとともに、それを生かして意見文を仕上げ、保護者に発信していく。

(5) 指導計画

次	学 習 活 動	評 価						
		観 点				評 価 規 準 ◇支援を要する児童への手立て	評価方法	
		関	読	書	言			
一次 (1)	<p>私たちの「食」はだいじょうぶ？</p> <ul style="list-style-type: none"> 全文を通読して感想をまとめるとともに、自分達の考えたインスタント食品とわたしたちの生活についての意見文を書き保護者に読んでもらうという学習の見通しをもつ。① 	◎					<ul style="list-style-type: none"> インスタント食品の良さや問題点について調べ、意見文に書き、保護者に伝えるという学習に興味をもって取り組もうとしている。 ◇「インスタントラーメン誕生」についてのビデオを見ることにより意欲の喚起を図る。 	行動観察 自己評価
二次 (5)	<p>「インスタント食品とわたしたちの生活」から書き方の極意を学ぼう！</p> <ul style="list-style-type: none"> インスタント食品に関する新聞や雑誌に興味をもち、積極的に読む。① 集めた資料を基に、インスタント食品の利用について自分の考えをもつ。① 教材文「インスタント食品とわたしたちの生活」の文章構成をつかむ。 問いかけから筆者の考えを読み取る。① 説得力のある文章にするための筆者の説明の工夫（主張につながる理由と具体例）を読み取る。① 	◎	◎	◎	○		<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事や雑誌に興味をもち、積極的に読み、自分の考えをもとうとしている。 自分の考えの理由と具体例を明確にまとめている。 段落と段落のつながりを考え、文章構成表に整理している。 文や文章にはいろいろな構成があることについて考えている。 筆者の主張である「豊かな生活」について考えを80字程度でまとめている。 筆者の主張につながるインスタント食品の良さや問題点についてワークシートにまとめ、筆者の説明の工夫（主張につながる理由と具体例）を書いている。 ◇二種類のワークシートを用意し、自分に合ったシートを選びまとめさせる。 	行動観察 自己評価 ワークシート 構成表 ワークシート 発言 ワークシート 発言
三次 (5)	<p>バージョンアップ大作戦！ 今までの学習を活用して保護者が納得する意見文を書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> 選材のポイントを活用し、良さや問題点の両面から理由や具体例を整理し、自分の考えを明確にしている。①【本時7/11】 構成のポイントを活用し、理由と具体例を明確にした意見文の構成表を作る。① 記述のポイントを活用し、自分の考えが明確になるように意見文を書く。② 推敲する。① 			◎	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> 良さや問題点の両面から理由と具体例を整理し、一番保護者を説得させる理由と具体例を選びミニ意見文を150字程度で書いている。 これまで学習した意見文の文章構成を活用し、三つの観点に沿ってメモを整理し、自分の主張を明確に表現できる構成表を作っている。 構成表を基に、伝えたいことを整理して800字程度の意見文を書いている。 推敲の観点に沿って読み直している。 ◇ヒントカードや意見文書き方メモを活用し、個別指導を行う。 	行動観察 ミニ意見文 ワークシート 構成メモ 意見文 振り返り カード 児童の感想

(6)授業の様子

<課題設定について>

- ・「5年4組の考えるインスタント食品とは、お湯をかけたり温めたりして簡単にできるもの」とした。
 - ・意見文で学習した書き方を活用し、自分の考えるインスタント食品についての意見文を書いた。
- この意見文が、自分たちの考え基とした。

ぼくは、インスタント食品をセッ極
 的食べ方がよいです。理由は、イ
 ンスタント食品にもかん単に
 食べられる、手間がかからない
 などの、良さもあります。が、インス
 タント食品は中を見て安全が
 かくにんできな、味も変え
 きれないなどの問題点もある
 のです。だからぼくは、インスタン
 ト食品をセッ極的に使わない方がよ
 いです。

- ・主張を書いている。
- ・良さと問題点を挙げて理由を書いている。
- ・主張につながる理由を書くことができたが、具体例を書いている。
- ・段落を意識していない。

- ・主張を書いている。
- ・ナンバリングを使って分かりやすく書いている。
- ・具体例を書いている。

みなさんはインスタント食品をセッ極く食べますか。食べる方が多いとすると、インスタント食品を食べたい人が多めでしょうか。インスタント食品の良さは、二つあります。二つ目は、お湯から温めたり、レンジでできることです。二つ目は、お湯をかけるだけで食べることが出来ます。問題点は、二つあります。二つ目は、お湯を入れても、味がよくない、中味を見ても、安全かどうか分からないことです。二つ目は、野菜があまり入っていないことです。三つ目は、インスタント食品には、栄養がたつことも、また、お湯をかけるだけで食べることが出来ます。

<かかわりの場>選材の学習の中で(本時)

①つけたい力

説得のある意見文にするために自分の考えを整理し、主張につながる理由と具体例について検討する力

②手立て

- ・選ぶポイントを明確にするための全体交流を行った。
ディベート方式の話し合いで出た意見を基に、主張につながる理由と具体例にするためのポイントを検討させた。
- ・選ぶポイントを明確にしたグループ交流
選ぶポイント(事実・保護者にニーズ)を基に、自分の主張につながる理由と具体例であるかを再検討させ、ミニ意見文に書かせた。

<取材メモ>



